

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・11月後半から商店街への来街者も増え、また県のプレミアム付商品券がスタートしたことにより、景気上昇に期待が持てる。
		スーパー（店長）	・11月末で近隣の競合店が1店舗閉店する。
		スーパー（総務担当）	・来客数が平均して推移しているのに対し、客単価は緩やかに伸びてきているので、少しずつ上向き感がある。
		スーパー（販売担当）	・ここ2～3か月は来客数と売上が前年を上回っており、寒い日は冬物食材が売れているので、今後の気温によっては売上に期待ができる。
		スーパー（営業システム担当）	・ハロウィンイベントが開催されるなど、周囲のイベントへの意欲の高まりを感じられるため、年末年始や節分等にも期待が持てる。
		コンビニ（支店長）	・現状から判断すると売上と来客数に増加が見込める。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・気温が下がれば売上は伸びる。
		家電量販店（販売担当）	・年末年始に期待が持てる。
		家電量販店（企画担当）	・今月末から県のプレミアム付商品券の利用が始まったので、消費効果に期待が持てる。
		乗用車販売店（業務担当）	・12月に新商品の正式な記者発表があるので期待が持てる。
		乗用車販売店（店長）	・客の動きや様子から見てどん底から抜けた感がある。2月、3月の増販に向けて以前よりは売上が期待できるので、サービス利用客がもう少し増えれば安心できる。
		乗用車販売店（総務担当）	・来客数の増加により商談が充実しており、受注数に期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・12月にはボーナスもあり、その後初売りもあるので、客も増える。
		自動車備品販売店（経営者）	・政府ももういい加減に何とかするだろうと期待している。
		その他専門店 [ファッション雑貨]（従業員）	・バーゲンセールが始まるので客の動きは良くなる。
		その他小売 [ショッピングセンター]（所長）	・昨年12月に大型ショッピングモールが新規出店したため、12月と1月は多少影響を受けたが、今年は昨年落ち込んだ分やや良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・プレミアム付商品券の影響で景気は良くなる。
		一般レストラン（店長）	・年末年始の予約も順調に入ってきていることに加え、コース単価が上昇傾向にあるため、売上も増加する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会等の時期に入り予約も順調である。
		旅行代理店（経営者）	・首都圏が好景気と言われる一方で、大企業の大型負債などもあるが、地方では堅実な営みの下にあるので、とにかく景気が良くなることを念じるばかりである。
		タクシー運転手	・運賃の値上げが控えていることと、利用できるカードが増えることで近距離の客が増加し、売上が伸びる見込みがある。
		通信会社（総務担当）	・年度末に向けて新築着工件数が増えるとともに、マンションの竣工を控えて新規契約の増加が見込まれる。
		通信会社（販売企画担当）	・賃金の上昇によって購買単価が上昇する。
		通信会社（工事担当）	・客の様子から判断すると良くなりそうである。
		設計事務所（経営者）	・消費税率再引上げを控えて全体の受注が上向く。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税率再引上げ前の駆け込みが始まるのではないかと期待感がある。
住宅販売会社（営業担当）	・来場者の中に購入意欲のある問い合わせをする客が増えてきており、消費税率再引上げ前に住宅購入を検討する客が多くなるが見込まれる。		
変わらない	商店街（代表者）	・客は節約しており、大容量のお徳用サイズより小さいサイズを買い求める。この様子からしても、年末から来年にかけて景気が良くなる雰囲気はない。	
	商店街（理事）	・天候不順やマイナンバー制度に対する不安などが影響し、客の財布のひもは固いままである。	
	商店街（代表者）	・出入り業者、顔見知り客、近隣住民ともに景気が良くなる感触はない。	

商店街（代表者）	・食料品をはじめとする日用品の値上げが続くなか、主婦層の買い控えが続く。
一般小売店〔靴〕（経営者）	・景気が左右される要因がない。
一般小売店〔紙類〕（経営者）	・来客数が増加する要因がない。
一般小売店〔食品〕（経営者）	・景気回復の要因がない。
百貨店（経理担当）	・大きく売上増につながる要素がなく、今の状況がまだ続きそうである。
百貨店（営業担当）	・先月と同様に空き区画が多く、催事等であまり目立たないよう工夫をしてやっとしのいでいる状態である。前月と同様に空き区画の早期誘致に取り組むことが、緊急の課題であることに変わりはない。
百貨店（営業担当）	・婦人服に関しては単品買いが多く、しばらくは厳しい状況が続く。
百貨店（営業担当）	・地方百貨店はインパウンドの恩恵もほとんどなく、一般消費に関しては、主軸となる紳士、婦人、子供向けファッション部門の厳しい状況が続く。
百貨店（営業担当）	・良くなる要因が見当たらない。
百貨店（販売促進担当）	・クリスマス、ボーナス、冬セール、正月などの大型商戦がスタートしてくる。コートに代表される冬アイテムの動きは悪いが、価格が下がれば動きがあるのではとの期待感はある。ただ来年の正月は曜日条件が悪く、帰省客が減少し年末年始商戦へのマイナスにつながるなどの心配材料もある。
百貨店（売場担当）	・近年になく歳暮の受注がやや苦戦気味にスタートしており、アイテムを問わず消費が低迷してきている。
百貨店（購買担当）	・衣料品関係では天候情報に従ってコート類を買おうという客がまだ多くない。宝飾品に関しては客の購買意欲は落ちない。
スーパー（店長）	・景気を判断する材料はない。
スーパー（店長）	・現状のまま推移する。
スーパー（店長）	・暖冬の影響で野菜の値段が下がっているが、寒くなってくれば様子は変わる。
スーパー（店長）	・政策含めてここ1年で近隣に変化が訪れる要因がない。
スーパー（管理担当）	・景気を向上させる起爆剤となるものがなく、現状維持状態はまだ続きそうである。
コンビニ（エリア担当）	・昼の売上が伸びており、前年度の103～104%で推移していく。現在の売上の伸びは継続していく。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の動きが上向き傾向にならない以上、現状とはあまり変わらない。
コンビニ（副地域ブロック長）	・予約催事が好調なので景気は継続する見込みである。
衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなる要素がない。
衣料品専門店（店長）	・客の財布のひもは固いままで、景気は回復しない。
家電量販店（店長）	・ボーナスの話題が出る時期であるが、客からはそういった雰囲気はなく、必要なものしか購入しない姿勢は続く。
乗用車販売店（統括）	・今年度は新型車の発売もなく厳しい状況が続く。
住関連専門店（営業担当）	・マンションの建築ブームが過ぎたようで、一戸建ての新築を求める客も減少している。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・販売増につながる要素が見当たらない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・売上は当面相変わらず低調に推移するが、消費税率再引上げなどの要因により更に厳しくなりそうである。従業員賃金を上げたくとも地方では難しく、景気も上向かない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	・好転材料が現在ないため、今後大きく景気が良くなることはない。地域マネーの導入を検討しており、それによる効果を期待しているところである。
高級レストラン（スタッフ）	・前年並みの来客数が見込まれるものの、それ以上になるか否かは疑問である。
一般レストラン（経営者）	・地方における客の賞与や給与の額は変わらない状況が固定化している。またパートやアルバイトの就業時間規制も厳しく、個人の所得は減少感がある。
一般レストラン（外食事業担当）	・忘年会や新年会で宴会の数が増えるものの、今年は年末年始期間が短いので、前年ほどの売上は見込めない。若者が食べ放題に流れる傾向に変化はない。
スナック（経営者）	・アベノミクスに期待していたが、地方の景気は一向に良くなっていない。何か対策を打たない限り景気は良くならない。

その他飲食 [ サービスエリア内レストラン ] (店長)	・春の観光シーズンまでは利用客数に変化はない。												
観光型ホテル (営業担当)	・プレミアム付商品券の使用によって年末までの個人消費が拡大する。												
都市型ホテル (企画担当)	・宿泊稼働率は高水準で推移しているため、室単価を上げる施策を実施する。												
都市型ホテル (総支配人)	・11月より年末年始を除きマーケット全体がオフ期に入り落ち込むが、温泉旅館は女子旅の増加や行政のインバウンド客の誘致により、例年より来客数の増加が見込まれる。当館は12月から3月末まで客室改装を実施する予定であり、売り止めが発生するため比較が難しい状況である。												
旅行代理店 (営業担当)	・現状ではプラスに働く要素がない。												
タクシー運転手	・客の様子からすると、当地の経済状況はニュースで伝えられる状況からはかい離しており、車内で経済状況判断への不満を言う客や敢えて触れない客が増えている。												
タクシー運転手	・忘年会シーズンに入るものの、今までの動きが良くないのであまり期待できない。最近はハンドルキーパーを決めていることも多いので、それが以前に比べてタクシー利用が減った要因となっている。												
通信会社 (社員)	・利用者からの販売量増加につながる問い合わせや申込に変動がない。												
通信会社 (企画担当)	・新商材の展開で年末年始に期待をしていたが、現状からすると大きくは期待できそうにない。												
通信会社 (総務担当)	・購入意欲等の変化を感じられない。												
通信会社 (広報担当)	・現段階では年末商戦を迎えても景気よく売れる予兆は見られず、例年通りの売上予想である。												
通信会社 (営業担当)	・一時的な景気浮揚感が失われて久しく、家計における節約ムードが高まっている。低迷までには至らないまでも景気が好転する機運はない。												
テーマパーク (管理担当)	・周辺には業績が伸びる大きな要因もなく、景気の変動は予測できない。												
テーマパーク (業務担当)	・年末年始の人出や購買などもあるが、年度末は来客数が増えにくい時期にもなるため、実感できるほど大きな景気回復には期待できない。												
テーマパーク (営業担当)	・良い材料がないので景気は変わらない一方で、長期気象予報では暖冬傾向となっているので、好天になることに期待が持てる。												
ゴルフ場 (営業担当)	・これからオフシーズンに入るためあまり変わらない。												
競艇場 (職員)	・1月には正月レースや女子戦が開催され、2月にはG1競争があるので売上は確保できる。												
美容室 (経営者)	・売上が落ち込んだまま回復せず、この先良くなる様子はない。												
美容室 (経営者)	・2～3か月で現状が変わることはない。												
美容室 (経営者)	・消費の傾向よりも離職率の問題が大きい。												
設計事務所 (経営者)	・地方都市に明かりが全く見えず、絶望感をひしひしと感じる。												
設計事務所 (経営者)	・今の様子から建築関係に良くなる要素が見当たらず、もうしばらく様子見となりそうである。												
設計事務所 (経営者)	・建築業界は慢性的な人手不足により建築費が高止まりの状況なので、急に景気が上向くことはない。												
住宅販売会社 (営業担当)	・問い合わせ件数は増えているものの成約にはなかなかつながらない。客は安定的な収入を実感できるまでは、高額な買物は控える傾向にある。												
やや悪くなる	<table border="1"> <tr> <td>商店街 (代表者)</td> <td>・客の様子から景気が上向く兆しが無い。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [ 茶 ] (経営者)</td> <td>・地元のロータリークラブも退会者が増え、若い人たちには経済的にも社交でも余裕がなくなってきている。地元の衰退が大変心配である。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [ 印章 ] (経営者)</td> <td>・新聞折込チラシへの反応が鈍く、客の購買力が低下しており、先行きは厳しい。</td> </tr> <tr> <td>百貨店 (売場担当)</td> <td>・歳暮商戦が良くなる要素はなく、まだまだ同一商圏内の競争が続き、厳しい状態は継続していく様相を見せている。</td> </tr> <tr> <td>百貨店 (営業推進担当)</td> <td>・地域的な要素もあるが、歳暮も今ひとつの状況で、年明けに向けての良い材料が見当たらない。</td> </tr> <tr> <td>スーパー (業務開発担当)</td> <td>・年末年始を控え期待したいところだが、食品に対する節約志向が定着しているため厳しくなりそうである。</td> </tr> </table>	商店街 (代表者)	・客の様子から景気が上向く兆しが無い。	一般小売店 [ 茶 ] (経営者)	・地元のロータリークラブも退会者が増え、若い人たちには経済的にも社交でも余裕がなくなってきている。地元の衰退が大変心配である。	一般小売店 [ 印章 ] (経営者)	・新聞折込チラシへの反応が鈍く、客の購買力が低下しており、先行きは厳しい。	百貨店 (売場担当)	・歳暮商戦が良くなる要素はなく、まだまだ同一商圏内の競争が続き、厳しい状態は継続していく様相を見せている。	百貨店 (営業推進担当)	・地域的な要素もあるが、歳暮も今ひとつの状況で、年明けに向けての良い材料が見当たらない。	スーパー (業務開発担当)	・年末年始を控え期待したいところだが、食品に対する節約志向が定着しているため厳しくなりそうである。
商店街 (代表者)	・客の様子から景気が上向く兆しが無い。												
一般小売店 [ 茶 ] (経営者)	・地元のロータリークラブも退会者が増え、若い人たちには経済的にも社交でも余裕がなくなってきている。地元の衰退が大変心配である。												
一般小売店 [ 印章 ] (経営者)	・新聞折込チラシへの反応が鈍く、客の購買力が低下しており、先行きは厳しい。												
百貨店 (売場担当)	・歳暮商戦が良くなる要素はなく、まだまだ同一商圏内の競争が続き、厳しい状態は継続していく様相を見せている。												
百貨店 (営業推進担当)	・地域的な要素もあるが、歳暮も今ひとつの状況で、年明けに向けての良い材料が見当たらない。												
スーパー (業務開発担当)	・年末年始を控え期待したいところだが、食品に対する節約志向が定着しているため厳しくなりそうである。												

		スーパー（販売担当）	・現状で売上は比較的好調に推移しているものの、その内訳はポイントセールとか全品何%引といったキャンペーン時に集中しており、日常的に安定して売れているわけではない。こうした点から判断してこの先景気が好転するとは考え辛い。
		スーパー（財務担当）	・年末年始にぜいたくをする反動により、1月以降買上点数は減少し、客単価も低下する。
		コンビニ（エリア担当）	・競合店の出店が相次いでおり、既存店の集客数が減少する。
		衣料品専門店（経営者）	・地方の景気がなかなか好転せず、買い控えが続いている。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・山陰地方まで地方創生が浸透していない。日本国土の人口バランスが取れるように仕掛けをしなければ地方創生は進まない。地方に仕事が少ないので、大都市部に人口が移動しているだけで、豊かな人が増えるというわけではない。
		観光型ホテル（宿泊担当）	・宿泊単価が低下している。
		都市型ホテル（企画担当）	・全体的に需要が落ち込む時期であるが、個人客の動きは昨年より良い状況になっている。ホテルに併設しているコンビニの売上などは好調である。
		住宅販売会社（営業担当）	・年末までの仕事は多いが、年始からの仕事は減少する傾向にある。
	悪くなる	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・消費税率再引上げ後の消費税等の納付時期と重なり、中小企業の負担増が生じる。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	・松葉ガニの競り価格が高いことに加え、今のところ品薄であるため商売としては苦しく、来客数も増える見込みがない。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注が増える予定なので忙しい状況が続く。
		不動産業（総務担当）	・年明けより賃貸物件の需要時期に入るため、来客数や成約件数は上向きとなる。
(中国)	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件製造が本格化して生産量が増加し、基準外時間労働も増加する見込みである。鉄鋼向けもペースは遅いが回復基調は変わらない見込みである。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・来年下期からは多少受注量が増える見込みである。
		輸送業（経理担当）	・国際関連貨物の荷動きがあるとの話も出てきており、これから若干良くなる。
		通信業（営業担当）	・景気対策や雇用促進などで改善が進み、経済団体による基本給の水準底上げ指示が中小企業にまで波及すれば、消費動向にも変化が生じて景況感が若干向上する。
		金融業（貸付担当）	・上場企業の利益増加などを受けて、冬季賞与が増額すると一部で報道されている。個人所得が増加し消費マインドの上昇や個人消費の増加につながれば、2、3か月先の身のまわりの景気はやや良くなる。取引先では増加運転資金など前向きな資金需要も少しずつ増えているので、金が動けば景気は良くなる。
	変わらない	食料品製造業（総務担当）	・売上が伸びても利益率が低いので厳しい状況が続く。
		木材木製品製造業（経理担当）	・世界情勢が不穏になってきており、景気は変わらないというよりも予測困難である。
		鉄鋼業（総務担当）	・安価な輸入材の流入が止まらず、先安観に歯止めがかからない。建築物件で動きが出そうであると期待する声もあるが、当面は現状レベルの活動水準と市況が続くことを覚悟している。
		金属製品製造業（総務担当）	・中国向けの案件の見通しが芳しくなく、先行き是不透明である。鉄原材料価格も下がったままであり、現在の状況が続く。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・今後も安定した受注内示となっている。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・業種、業界、地域ごとに景況感は様々だが、当業界では一難去ってまた一難であり、良くも悪くも現状程度で推移する見込みである。
		建設業（総務担当）	・受注予想に沿った動きが続いている。
		建設業（総務担当）	・海外のテロやロシア機撃墜問題で、混とんとしてきている。
		輸送業（支店長）	・マイナンバーの配達遅延が発生しているため、荷主の動きが敏感になっている。市場の動向が読み切れていない。

	輸送業（総務担当）	・好景気への大きな起爆剤となる要素もなく、景気減速につながる悪化要因もないため、変化はない。
	通信業（営業企画担当）	・直近でIT市場での売上に大きく影響する新商品の登場が見込めない。
	金融業（自動車担当）	・現在の為替水準なら完成車メーカーの輸出は当面好調が継続し、自動車部品メーカーの受注が高水準を継続することが見込まれるため、残業や土曜出勤を含む高操業が期待できる。
	会計事務所（職員）	・製造業では造船関連にやや期待感が出てきてはいるものの、数字にはまだ表れていない。消費マインドはアメリカの利上げや株価動向に敏感に反応し、来月以降の景気動向は、この冬のボーナス支給額にかなり影響される。
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・1～10月は水揚げ数量が前年度より656tの増加で前年比での105%であったが、水揚げ金額が4億4,680万円の減少で伸び悩んでいる。残る2か月でどこまで回復できるのが不安要素である。時化が多くなり出漁ができない日が増えるので不安が募る。
	食料品製造業（総務担当）	・年末商戦が開始されるなか、買い控えが見られる。
	化学工業（経営者）	・中国の景気低迷は回復の兆しが見えない状況であり、欧州経済の不安定さも重なり、主要取引先の輸出減少の影響が継続する見通しである。
	化学工業（総務担当）	・直近でのセメントの出荷やこれからの見通しが悪い。これは景気の底上げができていないことや建設業者の不足が原因となっているが、このままでは東京オリンピックの特需が起こっても景気回復につながるか疑問である。
	鉄鋼業（総務担当）	・中長期的に伸びる航空機やエネルギー関連は、スポットでも注文が入ってきているが、電子、自動車関連はブレが出ている。来春以降の動向も調査中であるが、今の段階では良い話はあまり聞かない。
	非鉄金属製造業（業務担当）	・中国経済減速の影響は今後とも続くとともに、金属相場の下落が長期化している。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・中国経済が下降気味なことに加え日本国内の景気刺激策と消費拡大に対して後手になっている感があり、地方では景気改善の気配すら感じられない。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・海外の大手自動車メーカーの不正検査問題により、全世界の自動車販売台数が激減していることから、当社への発注量が減っており、今後も減少する恐れがある。
	広告代理店（営業担当）	・年末年始を過ぎると例年受注量が低下する状況があり、現状より下回った状況が継続する。
	悪くなる	-
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	(中国)	
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中間決算を見ると、地場企業は昨年の消費税率引上げの閉塞感から脱し回復感がうかがえる。また消費者と直接関わる百貨店、スーパーなどの売上也順調に推移している。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	・臨時雇用を除き例年年末に向けて求人数や求職者数が減少する傾向にあり、今後も注視する必要がある。
	民間職業紹介機関（職員）	・円安基調のなかでの地元企業の好調な輸出に支えられ、地場メーカー、周辺企業において積極的に人材採用を行っている。
	人材派遣会社（社員）	・中国経済の低迷が中小製造業の採用活動に影響を及ぼすが、その他の産業の採用活動は引き続き上向きなので、総じては変わらない。
	人材派遣会社（支店長）	・時期的に今後依頼が増える見込みではあるが、例年と変わらない水準になる。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	・一部の業種や企業の景気は上向き傾向であるが、ほとんどの中堅中小企業は大きく変わらない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・地場中堅の土木会社で、来春採用の高校新卒内定者の半数が内定を辞退するという事態となったが、高校新卒者採用では珍しいケースである。地場中堅といえども中小企業であり、待遇改善にも限界があるため、学校側への対応を含めて対応策に頭を痛めている。
職業安定所（所長）	・医療福祉関連や建設業では慢性的に人手不足状況が続いており求人意欲が極めて高いが、その他製造業やサービス業など幅広い業種で人手不足感が広がっており、求人意欲が高まっている。	
職業安定所（雇用開発担当）	・事業所の求人意欲には若干陰りがある模様だが、高い求人倍率は継続する見通しである。	
民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・大手ショッピングモールが行った集客対策にはあまり効果が見えず、景気にプラスとなる要素が見当たらない。	

	学校 [短期大学] (学生支援担当)	・良くなるほどの動きはない。
	学校 [大学] (就職担当)	・特に良くなることもなく、悪くなることもない。
やや悪くなる	人材派遣会社 (支社長)	・まだ一部の限られた製造業だけであるが、チャイナリスクの影響が出始めている。今後は大口需要先で中国の負の影響が更に大きく出始める恐れがある。
	人材派遣会社 (経営企画担当)	・中国の景気減速、自動車関係のリコールなど経済市場での不安要因による受注活動への影響が懸念されるとともに、国内市場での求職者確保の競争激化や労働者派遣やマイナンバー実施などに向けた法改正への対応が控えている。人材業界はこれら様々な案件に真摯に対応できるところが生き残っていく。
	職業安定所 (産業雇用情報担当)	・円安による利益率の悪化で倒産した事業所や雇用調整助成金の相談をする事業所も出てきており、先行きに不安がある。
悪くなる	-	-